

内視鏡件数 10 年間の推移 ～内視鏡看護師の大きな役割～

芝原啓子¹⁾

要 旨：近年、消化器分野の内視鏡はめざましい進歩を遂げている。当院でも、胃カメラ（EGD）、大腸カメラ（CF）、内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）といった検査目的の内視鏡の他に、内視鏡的乳頭切開術（EST）、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）、内視鏡的粘膜切除術（EMR）といった治療的内視鏡も実施できるようになり、件数は増加し、ERCP は 10 倍になった。スタッフや医師とのコミュニケーション、機器のメンテナンスや業者との連携、コストの処理など業務は多岐にわたる。外来部門は、スキルが磨ける魅力的な部署である。各部署それぞれに特色があり、専門性が求められ、丁寧にスピードのある対応、医師との架け橋、家庭生活が安定して過ごせるよう指導力が求められる。

キーワード：消化器分野内視鏡；スタッフ同士や医師とのコミュニケーション；病院の顔

（雲南市立病院医学雑誌 2020；17(1)：印刷中

内視鏡検査

近年、日常生活動作（QOL）の改善を目指した低侵襲な内視鏡治療が可能となってきており、消化器分野

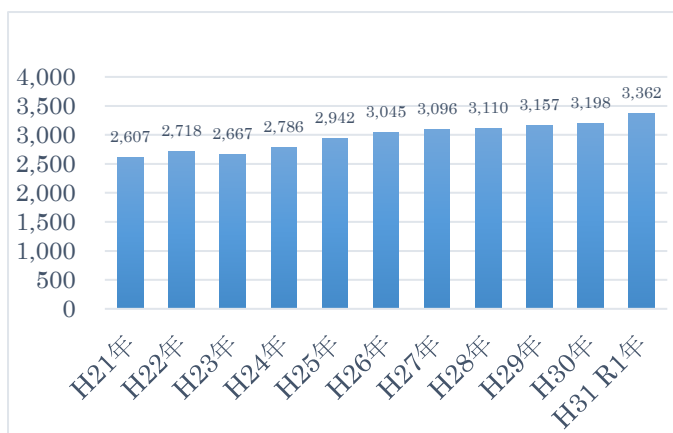


図 1：胃カメラ（EGD）件数 10 年間の推移の内視鏡はめざましい進歩を遂げている。当院でも、

胃カメラ（EGD）、大腸カメラ（CS）、内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）といった検査目的の内視鏡の他に、内視鏡的乳頭切開術（EST）、早期の癌を切除する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）、腫瘍の内視鏡的粘膜切除術（EMR）といった治療的な内視鏡も実施できるようになっている。さらに、各内視鏡検査は、過去 10 年間で、

胃カメラ 2,607 件→3,362 件（図 1）

大腸カメラ 406 件→631 件（図 2）

ERCP 3 件→34 件（図 3）

ERCP に及んでは 10 倍に増加している。今回 10 年間の内視鏡件数の推移を調査しまとめた（図 4）。また、内視鏡看護師の役割を報告する。

統計からわかること

- ・EGD、CS、ERCP いずれも年々件数が増加している。
- ・ERCP に関しては 10 年前の 10 倍以上にまで増加している。

1) 雲南市立病院看護部看護科

著者連絡先：芝原啓子 雲南市立病院看護部看護科 [〒699-1221 雲南市大東町飯田 96-1]

E-Mail: kangobu@hotaru.yoitoko.jp

電話：0854-47-7500/ FAX：0854-47-7501

（受付日：2020 年 3 月 31 日、受理日：2020 年 3 月 31 日）

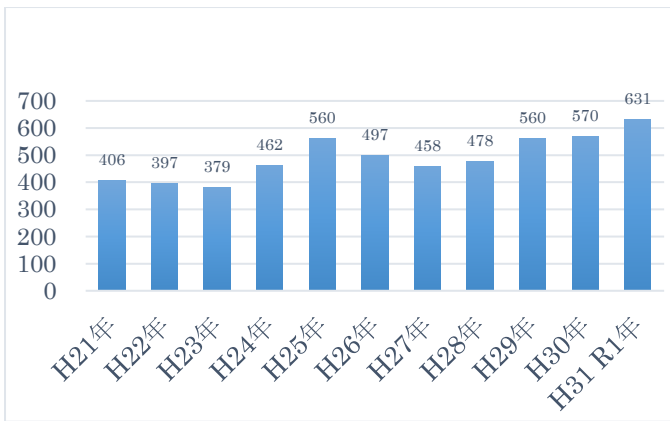


図2： 大腸カメラ（CS）件数 10年間の推移

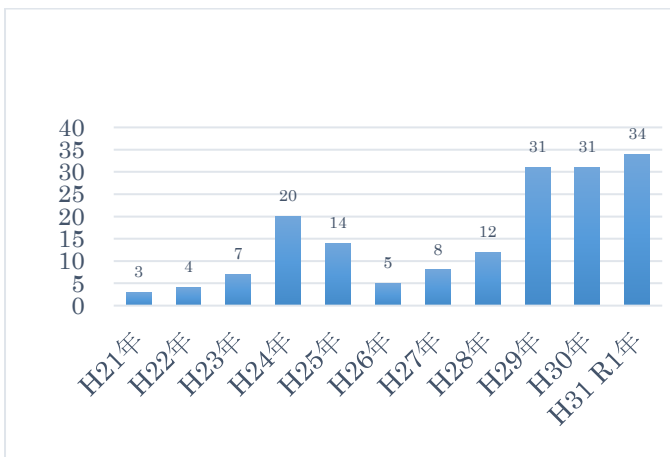


図3： ERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影）件数 10年間の推移

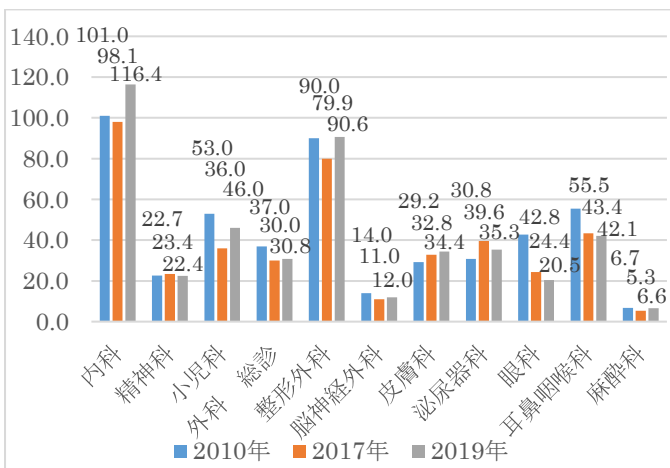


図4：診療科別件数（1日平均）

・80歳代、90歳代の高齢者に対して実施されている。
 ・内科の医師の増加による影響が関係していると考えられる。

内視鏡看護とは

・患者さんの状況把握をし、丁寧に説明し、安心、安

全に検査が受けれるように環境を整える。

- ・患者の状態を把握し、声をかけたり、背中をさすったり、安楽に検査、治療が終わるようにサポートする
- ・機器の準備、治療における医師の診療の補助を行なう。

内視鏡看護師の特化性

- ・消化管の解剖に強くなる。
- ・消化管粘膜の正常、異常の判断が付き、生検の部位がわかる。
- ・手技の練習が必要であり、職人技的である。
- ・機器に強くなる。
- ・最先端の医療を行っている。

内視鏡担当のある一日・・・

- ・8:20～13:00 内科外来担当あるいは朝から内視鏡担当（15症例くらい）
- ・13:00～ CF（3症例くらい） 小児科外来、耳鼻科外来、泌尿器外来を終えてつくことも・・・、というようにいつもスタッフ同士で連携を密にしている。
- ・その後 ERCP 等あれば介助につく。
- ・プロテクターをつけた状態での介助は身体的に重労働。最近では手術時に内視鏡を使用することもある。

内視鏡担当看護師の頑張り

スタッフ同士：

- ・知識の向上を目指し自己研鑽している。
- ・先輩から後輩へ、実施指導をし、技術の向上を目指している。
- ・内視鏡が担当できる看護師が少ないため、連携を密にしながらか対応している。

医師とのコミュニケーション：

- ・検査前に医師との十分なコミュニケーションを取り、事前準備をしている（図5、6）。
- ・医師からの患者紹介、当日の処置内容の紹介。
- ・事前の患者さんの情報収集（抗凝固薬、抗血栓薬、緑内障）。
- ・休薬の確認の情報共有を一緒にしている。
- ・処置時の医師とのタイミング。
- ・島根大学と同じレベルの処置が当院で実施できている。患者さんにとっても遠くまで行かなくても地元で処置できるので喜ばしいことと思われる。

機器のメンテナンス：

- ・機器の洗浄、消毒、物品の管理、破損状況の確認。
- ・感染面の勉強。
- ・限られた空間の清潔、不潔の概念。

業者との連携：

- ・業者との連携、期日のやり取り。

コスト関係：

- ・新しい材料を使用時には電子カルテに入れてもらい検査後のコストの実施入力。

常勤担当先生（内科）から一言

「鎮静の勉強会も行い、より安全に処置が行えるようになりました。合併症の危険性が高い、ERCP や ESD をたくさん行えているのは、皆さんのおかげです。「当院の役割」が広がりましたね。これからも頑張っていきましょう・・・。」

内視鏡看護、どうだったでしょうか

スキルが磨ける魅力的な部署です。外来部門では、その他の部署もそれぞれに特色があり、専門性が求められます。丁寧でスピードのある対応、医師との架け橋、家庭生活が安定して過ごせるよう指導力が求められます。「病院の顔」といわれる外来でお互い協力しながら頑張っています。



図 5： 常勤担当先生との情報共有

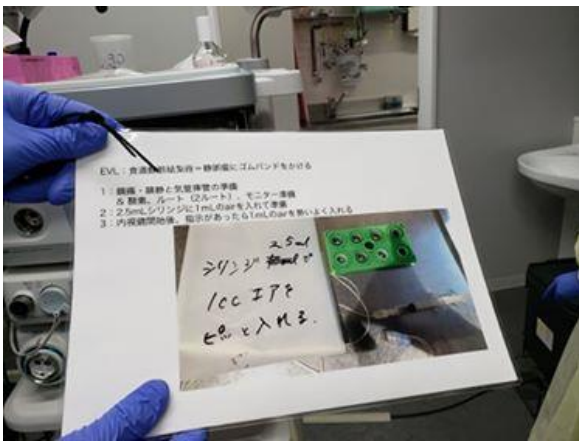


図 6： 医師監修によるオリジナルの手引き書



10-year trends of gastrointestinal fiberscopy in our hospital: rule of endoscopic engineering nurses

Keiko Shibahara¹⁾

Abstract: Recently, gastrointestinal fiberscopy is increasingly being performed. In our hospital, we perform not only endoscopic diagnostic procedures, such as esophagogastroduodenoscopy (EGD), colonoscopy (CS), and endoscopic retrograde cholangiopancreatography (ERCP), but also endoscopic therapeutic procedures, such as endoscopic sphincterotomy (EST), endoscopic submucosal dissection (ESD), and endoscopic mucosal resection (EMR). The number of these procedures performed has been increasing. The roles of endoscopic engineering nurses include communication with staff and endoscopists, maintenance of instruments, relation and cooperation with merchants, and management of costs. The outpatient department is one place where we can improve such skills as careful and speedy response as mediators between doctors and patients.

Keywords: gastrointestinal endoscopy; communication among staff members and endoscopists; the face of the hospital

1) Nursing department, Unnan City Hospital

Correspondence:

Keiko Shibahara, Nursing department, Unnan City Hospital [96-1 Daito-cho Iida, Unnan, Shimane 699-1221, JAPAN]

E-Mail: kangobu@hotaru.yoitoko.jp

Telephone: 0854-47-7500 / Fax: 0854-47-7501